2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
環境生態系分野	分子予防環境医学特論Ⅰ・Ⅲ	伊藤 達男

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）ヒトの健康に影響を及ぼす環境について知る。
（2）環境と健康の相互作用・相互影響について理解する。
（3）環境中の物質がヒトの健康に及ぼす影響を知る。

授業到達目標

（1）基礎医学研究の最新の進歩について述べることができる。
（2）論文に記載されている内容を吟味し，それぞれの実験系に応用することができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	金	12:00-13:00	伊藤 達男	講義	[抄読会]	最新の英文文献を紹介し，討論する。 [場所:Web 講義]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

討論会の現場で，先達である研究者から種々のコメントを届けることでフィードバックとして対応する。

教科書

ISBN-9784815701321, ゲノム 第４版: 生命情報システムとしての理解, T.A. ブラウン著、石川冬木（翻訳)、中山潤一（翻訳）, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2018

参考書

ISBN-9784062195928, 基本がわかる分子生物学集中講義, 武村政春著, 講談社, 2020

準備学習（予習・復習等）

（1）講義ごとに紹介する文献および論文を，次回講義までに読んでおく。
（2）事前に教科書や参考書で約１時間程度，該当箇所を予習しておく。
（3）紹介された論文の要約を作成する。
（4）紹介された論文を読了するのに約１時間程度の復習を実施する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

（1）論文の紹介は，誌名・巻（号）・頁・年・著者・題名・抄録・図表をＡ３サイズにまとめて（多い場合は枚数を増やして）参加者に配付する。
（2）代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。